

『NHK年鑑』を利用される方に

『NHK年鑑』は、1931年に『ラヂオ年鑑』として創刊され、テレビ放送の始まった翌年1954年に『NHK年鑑』と改称されました。

太平洋戦争中に3年間休刊したほかは毎年発行して放送の歩みを体系的・継続的に記録し続けてきました。

2011年版は、原則として2010年度を対象として、NHKだけでなく広く放送メディア関連の動向を記録しています。

巻頭の「特集」として、「東日本大震災」と「通信・放送法体系の全般的な見直し」を取り上げました。

「東日本大震災」

2011年3月11日に発生した、東北地方沖の太平洋を震源とする国内観測史上最大のマグニチュード9.0の巨大地震により、建物の倒壊、火災、津波に加え東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質漏れや、大規模停電など、東日本を中心に甚大な被害がもたらされました。この未曾有の災害に対する報道、関連番組などについて、詳細に記述しました。

「通信・放送法体系の全般的な見直し」

通信・放送融合の進展に対応するための通信・放送法体系の見直しが60年ぶりに行われ、8つあった通信・放送関連法は、放送法、電気通信事業法、電波法、有線電気通信法の4つに集約されました。改正放送法の概要とその成立までの経緯等について、記述しました。

刊行するにあたって、ご協力いただきました多数の執筆者、また編集関係の各位に対し厚く御礼申し上げます。

表記方法など

- ①表記は、原則として『NHK漢字表記辞典』（新常用漢字表に対応）、『NHKことばのハンドブック 第2版』に準拠した。
- ②年の表示は、原則として西暦で統一した。
- ③固有名詞（社名など）の漢字は、人名以外は、原則として新字体で統一した。
- ④企業名、チャンネル名等については適宜、通称・略称を使用した。
- ⑤番組名には『 』、シリーズ名や個別のタイトルには「 」を使用した。
例：『NHKスペシャル』『無縁社会』
- ⑥番組解説については、次の略号を使用した。

総合テレビ=G	ラジオ第1=R1
教育テレビ=E	ラジオ第2=R2
ハイビジョン=HV	FM放送=FM
衛星第1=BS1	テレビ国際放送=T国際
衛星第2=BS2	ラジオ国際放送=R国際
- ⑦NHK関連団体については次のように略称した。

NEP	=NHKエンタープライズ
NED	=NHKエデュケーショナル
Gメディア	=NHKグローバルメディアサービス
JIB	=日本国際放送
NPN	=NHKプラネット
SV	=総合ビジョン
- ⑧「放送日誌」の作成には、以下を参考にした。
朝日・毎日・読売・日経の各紙
『新聞研究』『月刊民放』『放送レポート』
『放送研究と調査』
- ⑨視聴率は、特に断らない限り「ビデオリサーチ調べ、関東地区」を使用した。
- ⑩口絵グラビアは、NHKの報道写真、番組広報写真などを使用した。